

技術を大切に
人を大切に
地球を大切に

TAKUMA

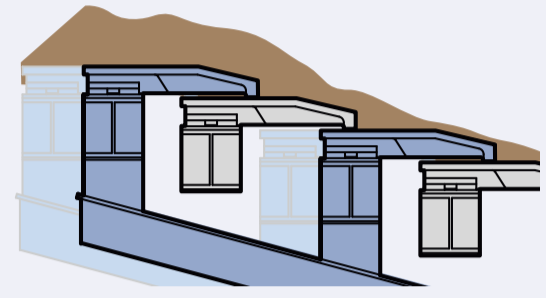
たゆまぬ技術開発で、環境と経済に優しいごみ処理施設を提供します。

1 ハイブリッドストーカ

燃焼過程に適したストーカを組み合わせ、多様なごみを安定燃焼します。

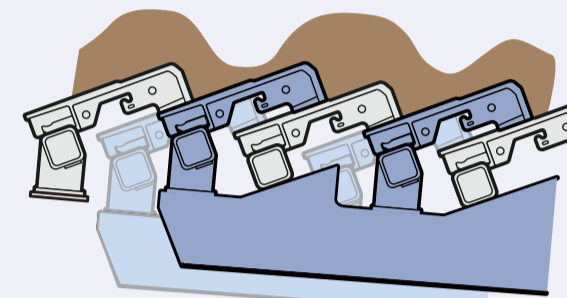
乾燥：水平駆動式

▶ 不燃残渣等の燃焼



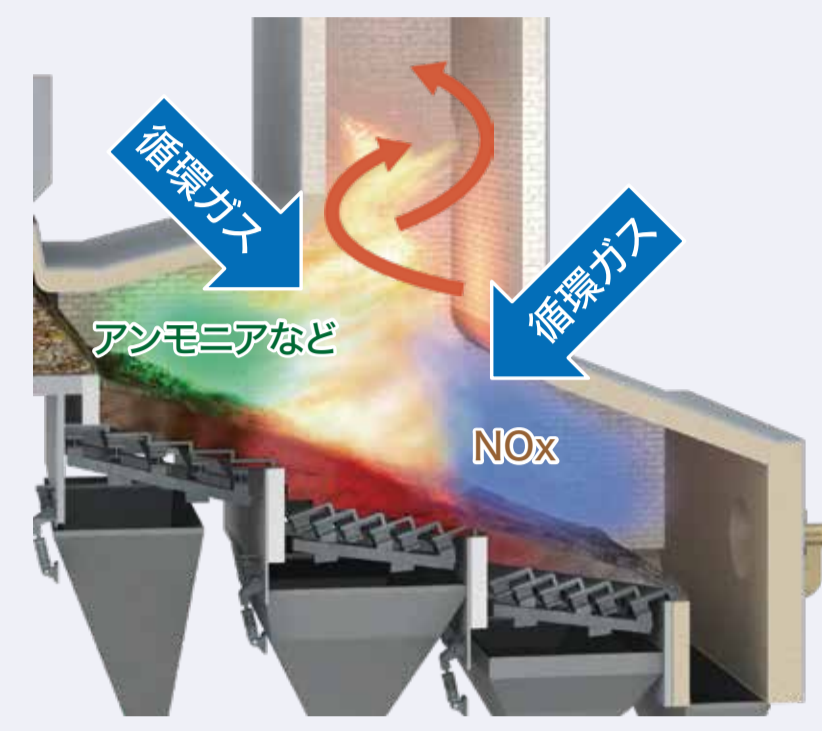
燃焼：傾斜駆動式

▶ 災害ごみ等の燃焼



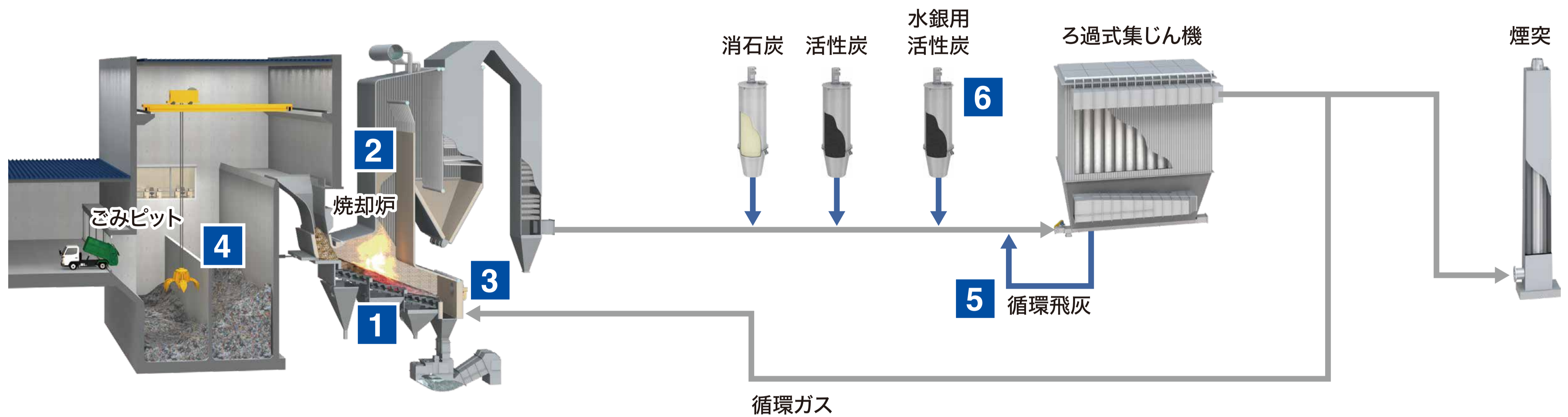
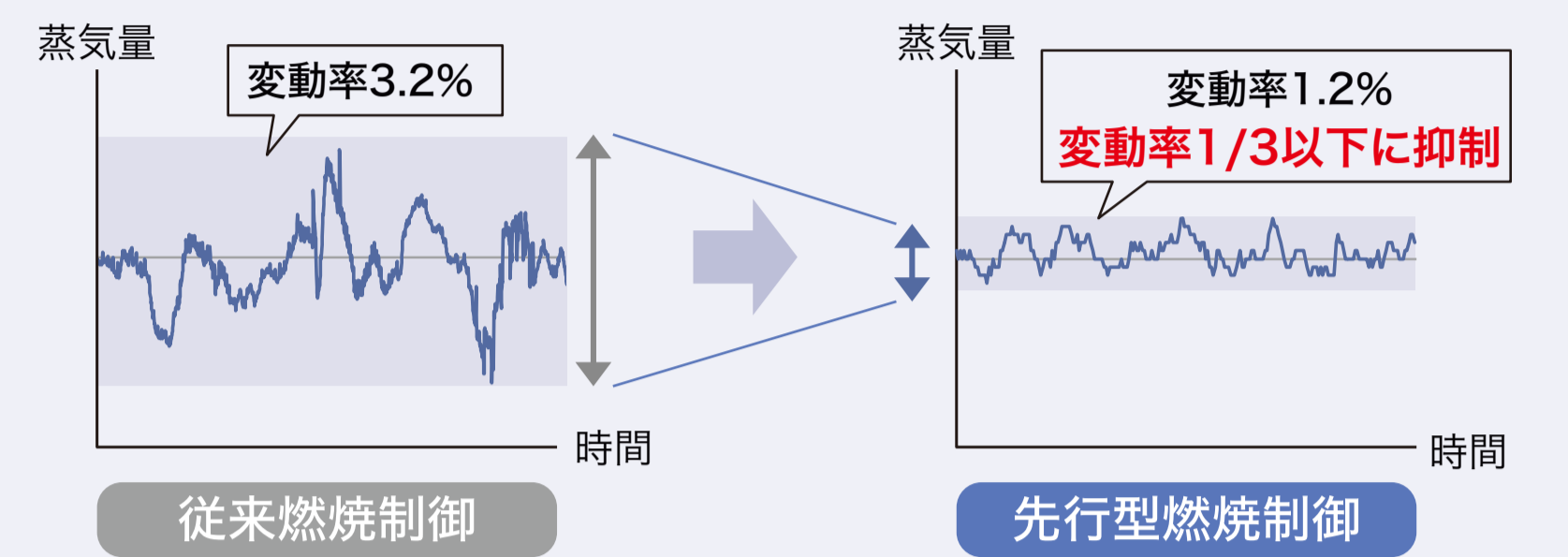
2 排ガス再循環システム

循環ガスで焼却炉内の燃焼ガスを強制的に混合攪拌して、NOx発生を抑制します。



3 先行型燃焼制御

ごみ質を正確かつ迅速に把握して、リアルタイムに燃焼を制御します。



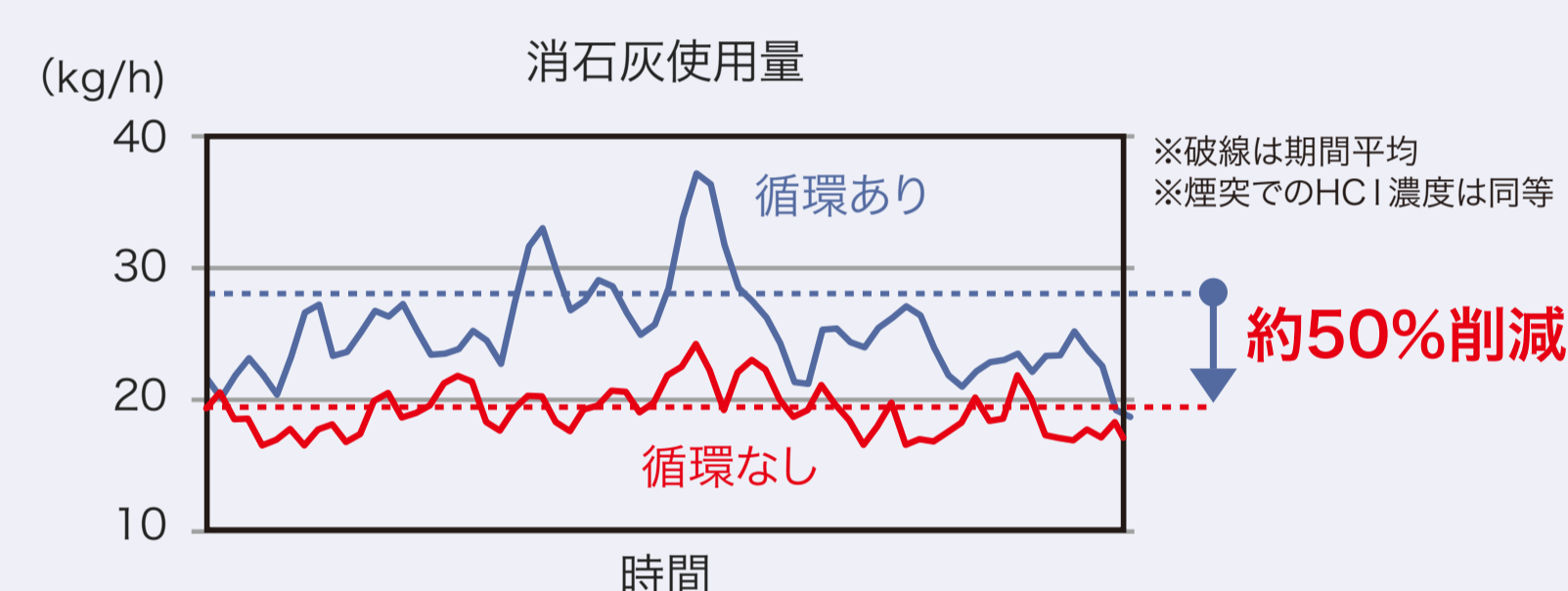
4 ごみ均質化システム

ITVカメラの画像を解析して、ごみクレーンの自動攪拌に適用します。



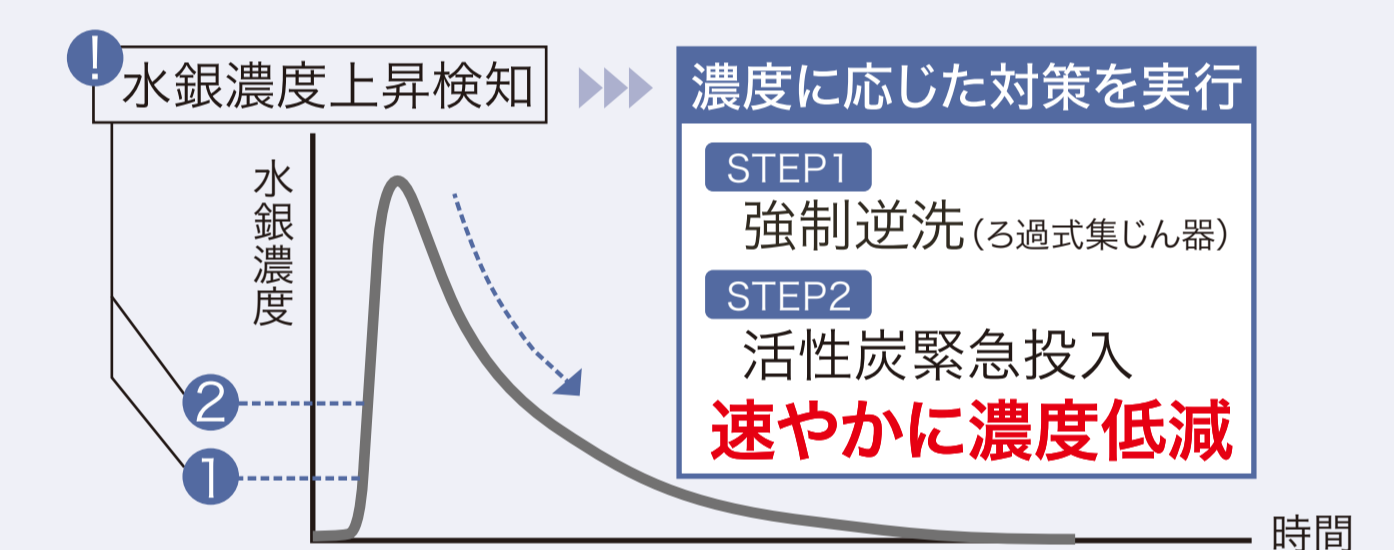
5 飛灰循環システム

飛灰中の未反応薬剤を循環させて、消石灰使用量を削減します。



6 即応型水銀除去システム

突発的な濃度上昇に備えた段階的な対策で、速やかに水銀濃度を低減します。



階段炉を採用した“創エネルギー型”下水汚泥焼却により、環境負荷低減・経済性向上に貢献します。

地球温暖化防止に貢献

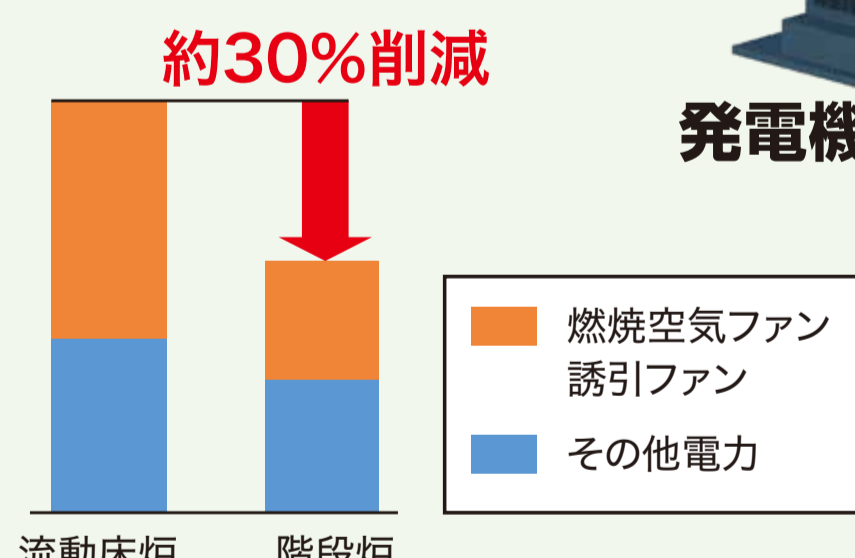
維持管理コストを削減

電力由来 下水汚泥焼却による発電を実現

廃熱ボイラを設置できる階段炉は、下水汚泥焼却でも発電することができます。

電力由来 低消費電力

階段炉は、流動床炉と比べて、燃焼空気の供給圧力が小さいため、ファンの消費電力を約30%削減できます。

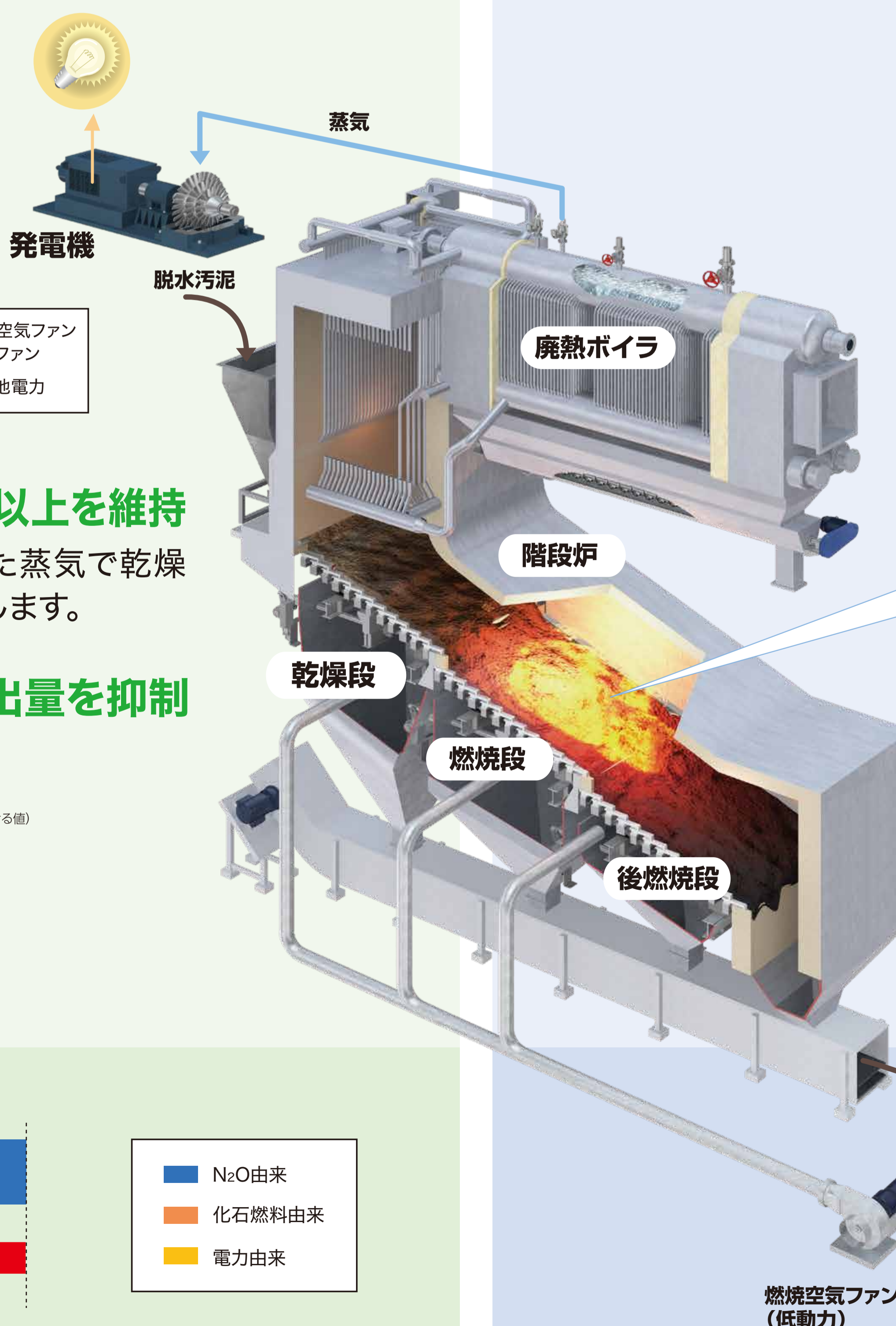
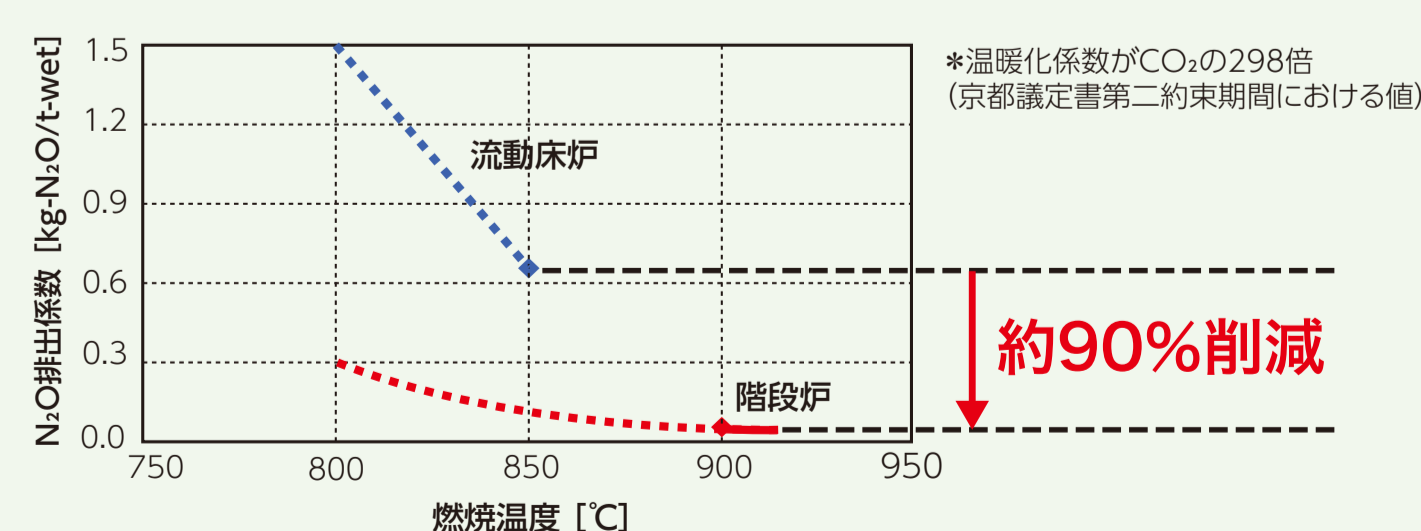


化石燃料由来 化石燃料なしで、燃焼温度900℃以上を維持

含水率が高い脱水汚泥は、廃熱ボイラにて生成した蒸気で乾燥させてから焼却するため、化石燃料なしで完全燃焼します。

N₂O由来 地球温暖化係数の高いN₂O*排出量を抑制

燃焼温度が高いため、N₂Oの発生を抑制します。



電力 購入電力コストはゼロ*

発電と低消費電力の相乗効果により、購入電力コストの削減にも貢献します。
※処理能力35t/日の施設にて実証済

化石燃料 化石燃料コストはゼロ

廃熱ボイラの蒸気を利用して汚泥を乾燥させるため、化石燃料が不要です。



トラブルの発生抑制

ボイラ水管により焼却炉を冷却し、燃焼を阻害するクリンカの付着を抑制します。

温室効果ガス排出量の低減効果



用役コストの低減効果

